

鈴木金融担当大臣

「金融ニッポン」トップシンポジウム 挨拶

2023年10月3日

金融担当大臣の鈴木俊一です。

本日は、本シンポジウムにお招きいただき、誠にありがとうございます。ご盛会をお慶び申し上げるとともに、開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

今、日本では、社会課題を解決し、成長を実現するための変革の動きが生まれています。最近では、脱炭素などの世界共通の課題を、日本の持つ技術力で解決しようとする起業家が増えています。

そして、日本には成長の原資となる、豊富な金融資産があります。家計金融資産の半分以上を占める現預金が成長投資に向かい、その成果が家計に還元されることで、家計の資産形成と更なる投資につながる「成長と分配の好循環」が生まれます。

岸田政権は、官民の連携により、社会課題を成長のエンジンに転換する「新しい資本主義」による日本経済の再生に取り組んでいます。その重要な柱として、昨年、「資産所得倍増プラン」を策定し、「貯蓄から投資へ」のシフトを抜本的に進めています。

具体的には、NISAの拡充・恒久化を決定するとともに、金融経済教育推進機構の設立や本機構等を通じた金融経済教育の充実に向けて、関係法案を国会に提出し、審議いただいています。

しかしながら、「成長と分配の好循環」を実現するには、こうした政策面の後押しに加えて、家計の資産を運用する資産運用セクターの抜本的改革が不可欠です。本日は、日本を代表する大手金融グループを率いる経営トップの方々が参加されています。各グループにおかれては、引き続き、顧客本位の業務運営の実現に向け、傘下の資産運用会社や販売会社において、中長期の資産形成に資する商品組成・提供や、そのための人材育成を含めた業務運営体制の整備を進めていただきたいと思います。

資産運用立国の実現に向けては、こうした観点も含め、グループ内での資産運用ビジネスの経営戦略上の位置づけを明確化していただき、その実践のために、グループ全体としてどのように運用力向上やガバナンスの改善・体制強化を図っていくかについて、具体的に検討し、実行に移していただく必要があると考えています。資産運用業の発展に向けて、皆様の力強いリーダーシップの発揮を期待しています。

また、日本独自のビジネス慣行や参入障壁を是正し、新規参入と競争を促進します。

こうした施策の検討の場として、新資本主義実現会議の下、「資産運用立国分科会」を設立します。資産運用立国の実現に向けて日本が進むべき方向性や、留意すべき事項等について、総合的な観点から、有識者にご意見を賜り、関係省庁と密接に連携して、政策プランを年内に策定してまいります。

政策プランの策定・実現を通じて、私は、国内外の優れた金融機関や人材が集まり、互いに切磋琢磨することで運用能力を高め、より良い金融サービスを提供す

る、真の国際金融センターを日本に実現したいと考えています。

この取組を進めていくためには、日本の強みや課題を的確に把握することが大切ですが、世界の金融センターに関し、多くの人々が納得できる信頼度や透明性の高い指標が存在しません。また、世界の投資家のニーズに沿った改革を進めるため、日米を基軸とした資産運用フォーラムを立ち上げる予定ですが、こうした議論にも、客観的で透明性の高い指標が必要です。この点、現在研究機関において、透明性の高い新たな指標として、「金融分野に関する世界の都市ランキング」の策定が進められており、近日中に公表される予定と聞いております。こうした指標を参考にしつつ、皆様とともに、国際金融センター構想を推進してまいります。

本シンポジウムが有意義なイベントとなることを祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。